第 1.0 版（2026 年 8 月 31 日作成）

信州大学医学部附属病院で子宮頸癌の診療を受けられた患者様またはご家族の方へ 当院における臨床研究にご協力をお願いいたします。

「子宮頸部扁平上皮癌における CXCL13 を介した T 細胞・B 細胞間相互作用と腫瘍免疫微小環境の予後への影響に関する研究」に関する臨床研究を実施しています。

信州大学医学部倫理委員会の承認を受け、医学部長の許可を得て実施しています。この研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

研究課題名	子宮頸部扁平上皮癌における CXCL13 を介した T 細胞・B 細胞間相互作用と腫瘍免疫微小環境の予後への影響に関する研究
所属(診療科等)	信州大学医学部附属病院　臨床検査部
研究責任者(職名)	小倉　大輝（臨床検査技師）
研究実施期間	医学部長による許可日～2030 年 3 月 31 日
研究の意義、目的	子宮頸部扁平上皮癌の組織で、CXCL13 を産生する T 細胞と B 細胞がどのような位置関係をとり、病気の特徴や治療後の経過とどのように関係するかを調べます。将来の予後予測や新しい治療法の検討に役立つ基礎的な知見を得ることを目的とします。
対象となる方	2010 年 1 月 1 日から 2025 年 12 月 31 日までに、信州大学医学部附属病院で子宮頸部扁平上皮癌と診断され、生検または手術により組織を採取された 20 歳以上の方（化学療法、放射線療法、化学放射線療法または手術を受けた方を含みます）
利用する診療記録／検体	診療目的で採取・保存された生検または外科切除ホルマリン固定パラフィン包埋（FFPE）組織、年齢、診断日・検体採取日、検体の種類、組織型、分化度、腫瘍径、TNM 分類、FIGO 病期、リンパ節転移、脈管侵襲、HPV 関連検査、治療内容、治療反応、再発・増悪、転帰、生存期間、血算、生化学検査値、腫瘍マーカー（SCC 抗原等）
研究方法	公開されている遺伝子発現データを解析し、CXCL13 を作る細胞や B 細胞との関係を調べます。保存 FFPE 組織を用い、RNAscope／mRNA in situ hybridization（組織中の mRNA を検出する方法）、免疫組織化学（組織中のタンパク質を検出する方法）および多重蛍光染色により、関連分子を発現する細胞と組織内の位置を調べます。これらの結果と病気の特徴、治療反応、再発および予後との関係を解析します。新たな検体採取は行いません。
共同研究機関名	本研究は、信州大学のみで実施されます。
問い合わせ先	小倉　大輝（信州大学医学部附属病院 臨床検査部・臨床検査技師） 電話：0263-37-2801　電子メール：ogura20@shinshu-u.ac.jp

公開先：https://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/medicine/medic/ethics/optout/（信州大学医学部）

：https://i-chuken.shinshu-univ2.net/category/optout/（臨床検査部）

診療目的で既に採取・保存されている生検または外科切除 FFPE 組織、診療記録および検査結果を研究、調査、集計しますので、新たな診察、検査または検体採取の必要はありません。ご本人だけでなく、ご家族（代諾者・遺族等）からの拒否のお申し出もお受けしております

当院外へ患者様を直接特定できる個人情報がでることはありません。

必要な情報のみを集計します。研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、患者様を特定できる個人情報は利用しません。

この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、参加取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。